

UNFPA 靴ランドリーイニシアチブの引渡式（2024年5月21日）

2024/05/21

2024年5月21日、ナミビアのウイントフック郊外カトウトウラ地区にある Befree Youth Campus で、UNFPA が日本補正予算の資金援助を受けて実施している Leaving No One Behind プロジェクトによる生活向上イニシアチブ「靴ランドリーイニシアチブ-Tidy Tekkies」の立ち上げが行われました。

ガワセブ・スポーツ・青年支援サービス省担当及びゴールドソン当地 UNFPA 代表は、ナミビアで若者が直面している失業問題に対応するために、若者のエンパワーメントが経済成長、イノベーションの構築に極めて重要であることを踏まえ、今回のイニシアチブを支援した日本国民に対し、感謝の意を表明しました。

西牧大使の挨拶を代読した矢野書記官は、UNFPA の「Leaving No One Behind プロジェクト」は、青少年の尊厳を守るために立ち上げられたものであり、今回の靴ランドリーイニシアチブは、若者が靴ランドリーサービスを起業できるよう支援するという内容で、同プロジェクトのコミットメントの証であると述べました。

Tidy Tekkies 靴ランドリー・ハブは、昨年 Leaving No One Behind プロジェクトの下で開催された靴ランドリー・スキル開発トレーニングに参加した 5 人の裨益者によって運営されます。



靴ランドリーサービス提供のためのコンテナのリボンカット：（左より）矢野書記官、ゴールドソン当地 UNFPA 代表、カルアイへ One Economy Foundation CEO、ガワセブ・スポーツ・青年支援サービス省担当



矢野書記官による西牧大使挨拶代読



上：カルアイへ CEO（プロジェクト実施機関として One Economy Foundation が選出されたことに関し、日本政府と UNFPA に謝意を表明）

上：イメネ裨益者代表（今回のイニシアティブは若者への投資を証明するものとして、日本政府に謝意を表明。）

下：ゴールドソン当地 UNFPA 代表によるスピーチ

下：ガワセブ・スポーツ・青年支援サービス担当によるスピーチ





写真提供： One Economy Foundation